



神埼市議会だより

あやとり



6月定例会

8月定例会は8月29日開会予定です。

7月26日(土)に開催された長崎街道かんざき宿場祭り時にライトアップされた旧古賀銀行神埼支店 (撮影:大野秋人議員)

議会が可決したのはどんな予算？



おもな補正予算を紹介します

6月定例会の補正予算総額 2億2,428万7千円

6月定例会は、令和7年6月6日から6月27日までの22日間開かれ、一般質問に10人が登壇し、神崎市政全般について質疑を行いました。補正第2号で4,457万7千円を、補正第3号で1億7,971万円を追加し、総額22億9,515万9千円となりました。市単独の財源予算をいくつか掲載します。

水利用環境の整備を進める

○田手川頭首工統廃合事業 614万4千円
(地方債610万円、一般財源4万4千円)

設置から20年以上で経年劣化し今後堰の統廃合のための整備を行い、将来に向けた維持管理にかかる負担軽減を図る。令和8年度から9年度にかけて2号堰、3号堰の撤去後、受益地に支障がないよう堤脚水路の改修を行う。



▲写真は田手川 4号堰

流入人口増を目指して!!



○空き家バンク登録支援事業 200万円 (一般財源)

空き家の家財道具等の処分に係る経費の1/2を補助し(限度額20万円)、バンクへの登録を促す。



脊振を楽しもう！ 「脊振わんぱく祭り」と同時開催！！

○山村留学事業(体験活動)
12万2千円 (一般財源)

自然やふれあいを通じ、脊振小中学校への長期留学等へ繋げる。体験学習、学校施設見学のプログラムに取り組む。



緊急度の高い箇所から ～和の杜周辺環境整備～

○北部丘陵土砂採取場跡地利活用事業
1,422万3千円(ふるさと寄附金基金)

令和6年度に実施した防災対策基礎調査をもとに、北部丘陵土砂採取場跡地及びその周辺地域において、土砂災害及び溢水被害の危険性があり、かつ緊急度の高い馬場川流域の防災対策に係る基本設計業務を実施し、周辺及び下流域の安全性を図る。

予算特別委員会のQ & A

補正予算の審議について、質疑を抜粋して紹介します。

北部丘陵土砂採取場跡地利活用事業

1,422万3千円
(ふるさと寄附金基金1,422万3千円)

（事業の目的）

令和6年度に実施した防災対策基礎調査の結果を踏まえ、土砂災害および溢水被害の危険性が高く、対策の緊急性が認められる北部丘陵土砂採取場跡地およびその周辺地域のうち、馬場川流域側について、防災対策に係る基本設計業務を実施するため、予算の補正を行うもの。



Q

和の杜の周辺は、かなり草木が生い茂っており、整備が大変ではないかと考えるが、防災の観点から、どの程度の範囲で整備を行う計画なのか。

A

令和6年度に、北部丘陵土砂採取場跡地およびその周辺地域について基礎調査を実施した結果、全体でおよそ35か所に対策が必要とされる箇所があるとの報告を受けている。そのうち、優先度の高い西側区域において、民家への影響を避けるよう配慮しつつ、12か所から15か所程度の整備を計画している。

空き家バンク登録支援事業

200万円（一般財源 200万円）

（事業の目的）

空き家の所有者等に対し、空き家内の不要な家財道具等の処分に係る経費の一部を補助することで、空き家バンクへの登録を促進し、移住希望者等とのマッチングを図る。これにより、空き家の利活用を進めるとともに、市内への移住・定住の促進を目的とする。



Q

今回の補助制度の対象となる市内の空き家は何件あり、現時点で空き家バンクに登録されている空き家は何件か。

A

現在、市内における空き家の件数は783件となっており、年々増加傾向にある。空き家バンクへの登録状況については、令和7年6月時点で空き家が12件、空き地が4件、あわせて16件が登録されている。

消防団魅力度向上事業

1,556万円（一般財源 1,059万9千円）

（事業の目的）

地域の防災力の充実・強化を図るため、その中核を担う消防団の活動を活性化し、消防団員の確保や士気の高揚につなげることを目的とする。そのために、装備の充実を図るとともに、市民および団員の家族に対して消防団活動への理解を深めていただき、消防団員が安心して活動できる環境の整備を推進する。



▲新旧活動服

Q

新型活動服を690着購入することだが、国からの補助額は496万1千円とされている。690着すべてを購入するのに、総額でどの程度の費用がかかるのか。

A

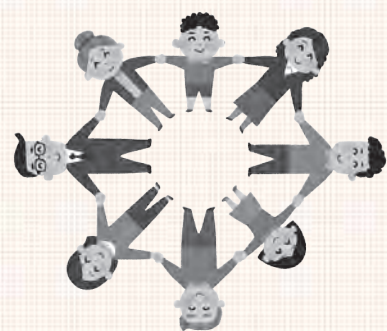
今回購入を予定している新型活動服は、690着で総額1,556万円である。内訳は、国の補助金を活用して購入する220着（496万1千円）と、神埼市の一般財源で購入する470着（1,059万9千円）となっている。この購入により、令和2年度から令和6年度までに既に整備済みの217着とあわせて、現在の全消防団員数907名分すべてが新型活動服に統一されることになる。

コミュニティ助成事業

240万円（コミュニティ助成金 240万円）

（事業の目的）

コミュニティ助成事業とは、一般社団法人 自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施するもので、集会施設やコミュニティ活動備品の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり及び地域文化への支援等に対して助成を行い、地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的とする。



Q

一般コミュニティ事業の台帳整備がされているのか。

A

採択を受けられた組織はもちろん、市に申請をいただいた全ての組織について、台帳管理は実施している。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

△4,031万3千円

（一般財源 △4,031万3千円）

（事業の目的）

予防接種法に基づき、新型コロナウイルス感染症における個人の発病又はその重症化を予防し、併せて、その蔓延予防に資することを目的とする。

Q コロナワクチン予防接種率が目標40%より低かった原因は。

A 令和5年5月にコロナが5類に移行したことや流行がなかったことも、接種率の低下につながったと考える。

城原川農業用水利施設統廃合事業 1,000万円

（県水利施設等保全高度化事業補助金1,000万円）

（事業の目的）

城原川では、35取水樋管により、昔から、農業用水や集落内の防火用水や浄化用水を取水しているが、施設の老朽化や地域での管理の担い手の高齢化等により、日常的維持管理などに支障をきたしており、適正な取水を行うための既存樋管の統廃合が必要となっているため、施設やその管理方法の改善に向けた検討を行う。

Q 農業用水利施設統廃合で35か所の取水樋管は今後どうなるのか。

A 農業用水施設の統廃合で、基本的には農業に使う水の確保を目的にしているが、冬場の水も含めて、環境的な事もあるため上流から水が行き届くように協議検討していきたい。

市営住宅高架水槽改修事業

707万3千円（一般財源 707万3千円）

（事業の目的）

市営住宅の維持管理に係る一般経費、既存住戸や入居予定住戸の修繕、住宅の各種設備の改修など、安全・安心な住環境の整備を図る。

Q 右原団地の水漏れでの工事・委託料で、FRPの水槽交換であり、高度な技術をあまり必要しないと思うが、各委託料の節約はできないのか。

A 高架水槽の改修工事については、同じ年度に同じような改修工事を行う場合は、前回の発注支援を参考に職員で設計をするようにしているが、建築工事においては、市に専門的な技術者がいないことから基本的には支援業務を外部委託することを考えている。

千代田文化会館自主事業（音楽ワークショップ） 50万5千円 （一般財源 50万5千円）

（事業の目的）

千代田文化会館は、芸術の振興及び福祉の増進を目的に整備されたもので、芸術文化の拠点施設として、また文化性の高い舞台芸術や講演等を市民に提供するための施設として利用促進を図っている。市民に文化・芸術性の高い伝統芸能や国際的に活躍する現代アーティストの音楽に触れる機会を提供し、文化芸術への理解を深めてもらう。

Q

世界的に活躍されているミュージシャンが来日公演される。それに携わるミュージシャンが10月10日に神崎市内の3カ所の中学校を巡回し、普段触れることのない音楽・芸術に触れる音楽ワークショップを実施される。保護者と一般の方の参加はできるか。

A

対象は基本的には中学生である。保護者の方が同席できるかは、中学校の方と協議していきたい。また一般の方に関しては、10月13日はんぎーホールにおいて開催されるブライアン・ブレイド&ザ・フェロウシップ・バンドのコンサート、ピーター・バラカン氏によるトークイベントに来て頂きたい。



神崎市音楽ワークショップ

～音楽ワークショップを通じた文化交流と人材育成～

【概要】

令和7年10月13日（月・祝）に開催される音楽コンサート&トークイベントに先駆けて、出演アーティストによる学校訪問型の音楽ワークショップが開催されます。

※7月13日の音楽コンサート&トークイベントの概要については、市報8月号をご覧ください。

【開催日及び場所】

開催日：令和7年10月10日（金） 開催時間：1回あたり45分～60分程度



【音楽ワークショップ講師】 松永 誠剛 氏



常任委員会でのQ&A

市から提案された条例案などに対し、各常任委員会で審査を行い、さまざまな視点で議論が交わされました。

各常任委員会での審議について、質疑の一部を抜粋して紹介します。

総務常任委員会

総務常任委員会では、条例案件3件、その他案件2件について審議を行いました。

議案第51号：神埼市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について（全員賛成）

Q

これまで、男性職員の育児休業取得は少なかったように見受けられるが、今回の条例等の一部改正により、今後はこれまで以上に育児休業の届け出がしやすくなるという理解でよいのか。

A

今回の条例等の一部改正により、育児休業の取得に関する選択肢が広がることで、職員にとってはこれまで以上に取得しやすい環境になると考えている。

Q

育児休業を取得した場合、職員の俸給に影響はないのか。

A

育児休業は休業なので無給となり俸給は支給されない。



議案第53号：財産の取得について（全員賛成）

Q

消防ポンプ積載車の耐用年数は何年か。

A

消防団での協議を経て、当初は概ね20年以上経過した車両を更新対象としていたが、車両の性能向上により故障が少なくなったことから、平成21年度に見直しを行い、現在は23年以上経過した車両を更新対象とすることとしている。



議案第59号：千代田中部小学校トイレ・照明改修工事請負契約の締結について （全員賛成）

Q

今回の契約について、契約先の共同事業体を構成しているのは土木関係の会社とのことだが、照明工事についてはこの共同事業体から外注される可能性があるのか。そうであれば、照明工事を専門とする設備会社などとあらかじめ共同で入札を行うことはできなかったのか。その方が中間コストを抑えられ、結果として費用の節約につながるのではないかと考えるが。

A

照明工事については、元請業者の下請け業者が担当する形となる。確かに、照明工事やトイレ改修工事などをそれぞれ分けて個別に発注する方法もあるが、今回は2月末の工期とし、3月の卒業式までに工事を完了させる必要があること、また、授業に支障を与えないよう夏休みなどの長期休業期間中に工事を集中して行う必要があることから、全体のスケジュールが非常にタイトとなっている。そのため、工程全体を一体的に管理し、効率的かつ円滑に工事を進める観点から一括して発注とする方式とした。当初から、電気設備工事を別途発注することも選択肢として検討していた。しかし、経費面については、一括して発注した方が安くなる場合もあれば、分割した方がコストを抑えられる場合もあり、一概にどちらが経済的であるとは言い切れない。今後については、発注方法の妥当性やコスト面も含めて、担当課と十分に協議しながら検討していきたい。



（改修後）



※写真は令和6年度にトイレ・照明改修工事を実施した千代田東部小学校

文教厚生

常任委員会

文教厚生常任委員会では、条例案件1件、その他案件1件について審議を行いました。

議案第52号：神埼市印鑑条例の一部改正について（全員賛成）

Q

システムが標準化されることにより、市民の申請手続きは何か変わるのか。

A

様式が一部変わることがあるが、これまでと何ら市民の方については変わらない取り扱いになると承知している。

Q

システムを変更するにあたり、移行期間はどれくらいか、その期間市民に支障をきたすことはないのか。

A

9月16日に切り替えを予定している。事前に新しいシステムで動作確認を実施することで、市民の方の利用に不便をきたすことはない。

市政を

問う

6月定例会一般質問

一般質問は、令和7年6月11日、12日、13日の日程で行い、10人の議員が登壇し、議論を交わしました。

一般質問とは…議員が、市政運営全般にわたり、問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めるものです。

各議員のQRコードを読み取ることで、パソコンやスマートフォンで議会の中継・録画が視聴できます。



神崎小学校登校風景

議員 今、お米の価格が上がっているが、当然学校給食費単価にも影響していると思う。ご家庭へ



吉岡 守 議員

議員 今、お米の価格が上がっているが、当然学校給食費単価にも影響していると思う。ご家庭への負担をなくすためにも全学生の給食費の無償化は考えられないか。

荒木学校給食共同調理場長 給食費無償化については、現在、小学校6年生と中学校3年生を対象に全額助成がなされているが、現時点において、全学年無償化への拡大は考えていない。

議員 大学、専門学校生

神崎市における 各種支援制度について



に対し、市として職員確保を前提とした奨学金制度を考えてはどうか。

大坪総務課長 市職員の採用を前提とした奨学金交付制度創設については、通常の採用制度で入庁する職員との公平性、公正性の観点から市民の理解といった課題が考えられるため実施は難しいと考える。

議員 市内の巡回バスだが、見たところほとんど利用されていないのが現状であるので、もう一度、再考する必要があると思うが。

田中総合政策課長 現在、利用状況は、はなはだかんばしくない現状である。今年度策定する地域交通計画の策定過程の中で、再度、市民の要望等を把握、分析して、神崎市地域公共交通活性化協議会において十分に議論し、利便性・継続性の向上を実現したい。

議員 農家民泊を積極的

連携など検討したい。

一方で脊振町の山間地では、一枚当たり20a未満の農地が80%以上で、小区画・不整形で高低差があり、耕作に不利なため、今後は農業機械のシェアリングなど地域間連携など検討したい。

久保山産業振興部長 市

内農地は平坦地の千代田町・神埼町では一枚当たり30a以上の農地が半数以上を占めており今後、農地の大区画化の検討やスマート農業の活用を進めていきたい。

議員 地域計画の中で、



徳川 博人 議員



法面の高低差がある山間地



平坦地転作状況

毎年、地域計画の 実行・確認を



に推進できないのか。

島農林水産課長 農家民

泊は地域活性化に非常に有効であり、先進地事例等調査研究したい。

議員 農産物の高温対策

設備の支援は検討できないか。

産業振興部長 近年の記

録的な猛暑で農産物の品質低下や収穫量の減少など、今までにない対策が必要となっていることから、今後は国・県等の情報の収集に努め、支援対策について研究したい。



城原川ダム建設予定地付近（政所）

議員 城原川ダム建設の主たる目的は、市内、中・下流域の河川氾濫による水害の減災である。そのために建設予定地の脊振



福岡 清道 議員

城原川ダム移転者へ 市独自の支援を



地区住民の方々は、やむを得ず移転を余儀なくされた。市として国の移転補償とは別に、市独自の支援を行うことを求める。

市長 ダム建設に伴い移

転される方々への支援は、いろいろな地区の支援の在り方等も勉強しながら、しっかりと検討していきたい。

子育て世代の市の新たな助成制度を求める

議員 神崎市は子どもの出生者数が低下傾向である。0歳から2歳までの保育料の無償化、3歳から5歳児までの副食費の無償化を求める。また、中学・高校進学時の制服等を揃えるには多額の費用が必要である。この費用へ市の助成制度創設も求める。

市長 現在、出生率の低下が問題になっている。現在、市の施策は子育て世代の経済的負担軽減を中心に行っているが、出生率低下に歯止めがかかっていない。私はそこに問題意識をもって、子育て支援の施策を経済的負担軽減にとどまらない全面的な支援・施策を研究し、出生率アップにつなげていきたい。

議員 「直鳥クリーク公園」は、約300メートル四方に独特の曲線を描く水路があり、その中には小さな島々がある。昔ながらの水辺の景観を維持するため、農村景観保全に留意した直鳥クリーク公園として整備された。近年は、市による繁茂した雑木（竹林）の伐採があり、今まで公園内は、地域住民による維持整備活動がなされている。しかし、流れのほとんどないクリークの底には、ゴミや泥土が沈澱し悪化している現状がある。クリークに堆積したごみ・泥土等の環境改善は地域住民が担うには過



直鳥クリーク公園 （直鳥城跡）の環境整備



度な作業であり、市の喫緊の課題であると思われる。クリークに堆積したゴミや泥土の除去及び水質環境改善の取り組みの考えは。

久保山産業振興部長 直

鳥クリーク公園は全国でも珍しい、佐賀平野に残る数少ない環濠集落として原形保全に留意し、県営地域用水環境整備事業により整備された貴重な公園の一つである。公園の維持管理については、直鳥環濠集落の有効利用を図り、施設としての維



「守れ」、直鳥クリーク公園の水環境

持と機能を充実させるため、市による除草、清掃のほか、公園内水草除草などと併せ、上直鳥地区との委託契約により、維持管理を行っている。直鳥クリーク公園を活用した魅力ある地域を実現するためには、水環境の維持など環境改善は不可欠であり、今後も地域の方々の意見を聴き、環境改善に向けた取組について検討を行い、地域の活性化に向けしっかりと努める。



排水設備のゲートポンプ

議員 国営水路千代田線末端地域、黒津地区における内水氾濫対策について、市はどのように考えているのか。

市長 先ほど国営水路千代田線から田手川の各排水樋管等の話があり、うまく活用する方法も一つ



神埼市南部地域 内水氾濫対策について



とされている。県営で造られた水路は国営水路に流す部分と、河川に流していく部分と両方あるので、例えばゲートポンプをつけたときに、どれくらい水が集まっていけるかなど、調べる必要があると思う。どこにつけたほうが効果があるのか、あるいはゲートポンプ以外のやり方が無いのか、そういうことも含め検討が必要と考える。私の中でも次は黒津地区の内水対策とされているので、ここを何とか対策につい

ての道筋をつけたいたいと思っている。

議員 令和5年に排水ポンプ車を4台導入したが、その効果についてどのように評価したのか。

筒井建設部長 令和5年度においては、城原川の黒津樋門や田手川との合流点の鯉江樋門、筑後川へ排水する国営水路三田川線の制水門への箇所など、排水ポンプ車を3回の雨で出動させており、総量約5万8千立方メートルの水量を排出している。標準的な25メートルプールの水量約4百立方メートルで換算すると、約145杯分の水量を排出したこととなり、浸水被害の軽減に一定の効果があったものと考えている。

その他の質問

- ・ 神埼市の子育て支援について
- ・ 不妊治療の支援について



佐藤 知美 議員

市、介護者手当支給 条例の拡充を求める



るものである。

議員 介護手当の支給要件として、介護を必要とする状態が6か月以上継続とされているが、その根拠はなにか。

こども・福祉部長 常時介護を要すると見込まれる状態として厚生労働省の省令では原則6か月とされており、市においてもこれを引用し条例で6か月としている。

議員 原則6か月となった

議員 神崎市在宅寝たきり老人等に対する介護者手当支給条例は、平成5年度に旧神崎町で実施され、その後旧千代田町でも実施され、合併後の神崎市でも継続されてきたが、制度実施以来すでに32年が経過し条例の内容、支給額の拡充を求める。

佐々木こども・福祉部長

この制度は在宅寝たきり老人等に対する介護手当は、日常生活を営むために、常時介護を必要とする65歳以上の寝たきり老人等を在宅で介護する介護者の労をねぎらい福祉の増進を図る目的で、1か月1万円の支給をす



ているが、5か月と20数日在宅介護を続けてきてその後検査入院が必要となった時は、改めて6か月の時間経過が必要か、そのような事例はあったのか。

濱野健康長寿課長 最近3年間で調べたところ、状態を見極める一定期間である6か月に満たない状況で、退院後に再度6か月の期間が必要となり申請された方が2名いた。

議員 6か月という期間が介護されている方々にとつて本当に妥当なのか、支給額についても30数年間変わっていないが拡充についての市長の考えは。

市長 この手当というより新たにもう1回きちんと支援策を構築するといふのも含め担当部局としっかり議論したい。

その他の質問

・不登校に対する対応策



野回 英樹 議員

スクミリンゴガイ 対策について



のような薬剤が該当（対象）するのか。

産業振興部長 農薬登録のある薬剤を対象としている。これらの薬剤については、使用方法、使用量、使用回数などを守り、適正に使用することで生態系や環境にも配慮したスクミリンゴガイの被害

低減を図ることとしている。

議員 補助金の支払い時期は、いつ頃になるのか。

議員 神崎、千代田、2地区のJA農談会に参加した。当該事業については、領収書の保管のみで、農業者に対して詳しい説明がなかったが、市は事業の周知方法についてどのように考えているのか。

久保山産業振興部長 病害虫被害防止対策補助金は、スクミリンゴガイの食害から稲を守るため、指定する薬剤に対して補助を行う。補助対象となる薬剤や補助額、補助上限額等の詳細を記載したチラシを6月中旬に配布する計画で進めている。

議員 スクミリンゴガイ駆除に要する薬剤は、ど



スクミリンゴガイの被害にあった水田

一般質問

神崎市議会だより 第73号（令和7年6月定例会）



設置から86年経つ中津の浮島水門

議員 流域治水を取組む中で、年々田んぼダム面積が減少し田んぼの保水能力は落ちている。気候変動で激しさを増す線状降水帯・ゲリラ豪雨に対し国営水路三田川線・国



副島 英樹 議員

市民が安心して暮らせる神埼



営水路千代田線に遊水池を検討してもらいたい。

森田建設課長 今後他市町の事例等を参考にしながら、効果的な取組みについて検討していく。

議員 水門について質問します。今までと違い降雨量が多くなる中、水門のチェック・更新はどうされているのか伺う。

建設課長 千代田町東部地区の江見手水門は昭和47年設置で52年が経過、浮島水門は昭和13年設置で

86年が経過し老朽化が進んでいることが懸念される。国に確認したところ点検・整備・更新マニュアルに基づいた点検が行われ、長寿命化計画により修理・更新が行われている。

地方創生について

議員 関東のある町では、賃貸戸建て住宅を建設し、若い世代の地区外からの移住定住に取組んでいる。25年住み続けられ、土地と建物が無償譲渡され全国から若い世代の申し込みが殺到、神埼市でも脊振地区・千代田東部地区の過疎化対策での取組を検討してみているのか。

大坪移住・定住推進課長 本市においても国の方針や他の自治体の取組を参考にし、取組むべき施策について各課で議論し今後の定住施策に生かしていきたい。



原口ひさよ 議員

議員 人材不足、物価高騰、エネルギー高騰、賃金アップなどにより、商業者の経営は大変厳しいものとなっている。市はどのように現状把握をされているのか。

野中商工観光課長 資金繰りの悪化や、物価高騰による影響、最低賃金の改定など厳しい状況による市内事業者の収益減少を懸念している。神埼市商工会と協議を重ね、令和7年度神埼市商工業振興事業補助金のメニュー拡充を行ったところである。

議員 厳しい経営環境の中でも創業、また、創業を検討している事業者が

市内商工業者を元気に!!



ある。市独自の創業支援策を検討することはできないのか。

商工観光課長 中小企業庁の小規模事業者持続化補助金（創業型）の紹介をしている。市として類似する空き店舗等活用支援事業として、改装費や設備費を補助対象経費として2分の1補助を行っている。空き店舗等活用支援事業との整合を図り商工会とも協議し研究・検討を図っていききたい。

議員 新規事業として500万円の当初予算が計上され、佐賀県や吉野ヶ里町と連携して周辺エリア交流人口の増加を図り、地域活性化を推進するところがあるが、どのような計画、取組を検討されているのか伺う。

久保山産業振興部長 佐賀県と神埼市、吉野ヶ里町が連携し、佐賀県吉野ヶ里歴史公園地域連携推進協議会が設置された。佐賀県が進めるハード整備と協議会が取組むソフト事業が連動して吉野ヶ里歴史公園を中心とした周辺エリア全体を通して型観光から滞在体験型観光へ転換していきたいと考えている。



吉野ヶ里遺跡は佐賀県の大切な財産
“歴史ファースト”の観点で、施設整備やソフト事業を展開します。

吉野ヶ里歴史公園官民連携推進事業イメージ図（出展：佐賀県）

久保山産業振興部長 林業担当部署を産業振興部に設置した理由は、人材育成と組織力の強化、林業をより発展振興させ、地域の活性化を図るためであり、機構改革後の体制については、会計年度任用職員2名が脊振支所を拠点に週3回を基本として、林道及び林野パトロールを実施する。

脊振支所での窓口業務についても正規職員が週3回を基本に業務を行う

議員 機構改革により、脊振支所の林業課が本庁の産業振興部農林水産課林業係へ集約された理由と、今後の地域支援の体制は。



大野 秋人 議員

森林と未来をつなげる行政へ



こととしており、災害が予測される場合についても事前に待機する等、様々な対応ができる体制を整えている。

議員 4月の機構改革からまだ約3か月であるが、今後、業務の実態や地域からの要望を踏まえて必要性が明らかになった場合は、脊振支所内に林業や地域振興の支援拠点を再び設けることも含め柔軟に対応していく考えは。

市長 今後、大いにその様な拠点を置くことを考えていきたい。脊振町は



脊振の山々と青空

自然環境に恵まれた本場に素晴らしいエリアで市内外から多くの人においていただきたい。その実現に向けて様々な施策を講じ、交流人口を拡大させ、最終的に移住、定住へつなげたいという思いからまずは山村留学に取り組む。林業についても林業係の職員だけが一生懸命頑張るのではなく、農林水産課全体、さらには産業振興部の皆が脊振の山を思っている仕事をしてくれる、一定の知識を持ってくれる、そういう形に持っていきたい。

議会改革検討特別委員会活動報告

委員長 平山 文也

議会改革検討特別委員会では、6月25日に特別委員会を開催し、第1分科会、第2分科会の調査・研究項目について、経過報告及び今後の検討項目について、全委員で確認いたしました。

まず第1分科会では、議会基本条例の制定に向け協議検討がなされ神崎市議会基本条例（案）を作成され、全議員で内容を確認したのち調整が整い次第上程する事を確認しております。

次に第2分科会では、神崎市議会政治倫理条例について、既に同趣旨の条例を制定済みの議会を参考に、条例の必要性を含めて、閉会中も引き続き調査研究する事を確認しております。

最後に、本特別委員会全体での検討項目についてであります。

はじめに、本市議会の議員定数について、各議員

様々な意見があり、慎重に議論していくことを確認しております。

次に、議会報告会・意見交換会については、実施する事を全議員で確認し、開催の時期・方法・場所について、運営会議で検討していくこととしております。

本特別委員会では、市民に分かりやすく、より一層「開かれた議会」を目指すために、閉会中に随時、各分科会及び特別委員会を開催し、研究・検討を重ねてまいりたいと考えております。

以上で、議会改革検討特別委員会の経過報告といたします。





神埼市民の願いを意見書にして国に届ける

〈意見書第 1 号〉

少人数学級・教職員定数の改善、義務教育費国庫負担制度等に係る意見書

今、学校現場では、小・中・高を合わせると41万人を超える不登校の子どもの数（23年度）が文科省調査で明らかになっています。とりわけ小・中学校では11年連続で増加し、過去最多となっています。貧困・いじめ・教職員の未配置など解決すべき課題が山積しており、長時間労働の実態も改善されず、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。また、現在の学習指導要領は、教育課程の時数と内容が過多（教育課程の過積載）になっており、子どもや教職員に過大な負担がかかる、いわゆる「カリキュラム・オーバーロード」の状態です。ゆたかな学び舎学校の働き方改革を実現するためには、学習内の精選、教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠です。

2021年の法改正により、小学校の学級編制標準は段階的に53人に引き下げられ、今年度完了となりました。今後は、中学校・高等学校での早期実施と、きめ細かい教育活動をすすめるために、特別支援学級の学級編制標準の引き下げ、少人数学級の実現が必要です。

一方、厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等を行っている自治体もありますが、自治体間の教育格差が生じることは大きな問題です。義務教育費国庫負担制度については、小泉政権下で国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。ゆたかな子どもの学びを保障するための条件整備は不可欠です。

よって、国会及び政府におかれましては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記

1. 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる学級編制標準の引き下げについて検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、教職員の業務に見合った、教職員定数改善を推進すること。
3. 子どもたちのゆたかな学びを保障するため、「教育課程の過積載」の早期改善のため、学習指導要領の内容の精選等を行うこと。
4. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を1／2に引き上げること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 7 年 6 月 27 日

佐賀県神埼市議会

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣

額賀福志郎 殿
関口昌一 殿
石破茂 殿

財務大臣
総務大臣
文部科学大臣

加藤勝信 殿
村上誠一郎 殿
あべ俊子 殿

ハラスメント根絶に関する決議 可決

〈決議第2号〉

神埼市議会議員のハラスメント防止及び根絶に関する決議

市民の直接選挙により選ばれ負託を受けた公人で代表者である神埼市議会議員（以下「議員」という。）は市政にかかわる権能と責務を深く自覚し、地方自治に基づき高い倫理観を持ち、自らの行動を市民全体の代表者として活動を通じて福祉向上に努めなければならない。

ハラスメントは基本的人権及び個人の尊厳や人格を傷つけ、被害者の人権を侵害する重大な行為であり決して許されるものではない。また、住民社会及び議会活動に支障をきたし、議会の社会的信用を失うことにつながる。よって、議会としての役割を十分発揮するため、互いの人権と人格を尊重し、相互に信頼を深めることを通して、ハラスメントの防止及び排除に取り組み、信頼される議会の実現を目指し、下記のとおり表明する。

記

- 1 議員は市民全体の代表者として市政に携わる権能及び責務を自覚するとともに、常に高い倫理意識を持ちハラスメントが個人の尊厳を不当に傷つけ、人権侵害に当たることを認識し、ハラスメントの防止及び根絶に努めなければならない。
- 2 議員は、自らの言動によるハラスメントがあると疑われたときは、自ら誠実な態度をもって疑惑の解明に当たるとともに、その責任の所在を明確にするよう努めなければならない。
- 3 議員は、ハラスメントに当たる言動を行っていると疑われる事態に遭遇した時は、当該言動をしている議員に対し厳に慎むべき旨を指摘するよう努めなければならない。
- 4 議員は、ハラスメント防止及び根絶を図るため、必要な研修を実施するよう努めなければならない。

以上、決議する。

令和7年6月27日

佐賀県神埼市議会

全国市議会議長会表彰

去る 5 月 20 日に開催されました「第 101 回全国市議会議長会定期総会」において、市政発展に寄与された功労者として、全国市議会議長会 会長から議員在職 20 年以上表彰として、木原 憲治議員、議員在職 15 年以上として、中野 均議員、野口 英樹議員、野副 芳昭議員が表彰されました。神埼市議会議場にて表彰伝達式を行いました。



木原 憲治 議員



中野 均 議員



野口 英樹 議員



野副 芳昭 議員

令和 7 年は、晴天で穏やかな年明でスタートしましたが、年が明けてから、国民の主食である米が不足し、毎日のようにニュースで取り上げられるようになりました。この米不足は過去にもありました。平成 5 年、日本の記録的な冷夏で米が不作となり米不足となりました。これを平成の米騒動と呼びます。冷夏の原因は、フィリピンのピナツポ火山の噴火で、成層圏に放出された硫酸塩エアロゾルが原因とされています。今回の米騒動は、減反政策の影響・気候変動・インフレによる供給力低下・南海トラフ地震への備蓄・インバウンド需要などの複合的要因とも言われていますが原因調査はこれからと思います。何より米不足が 1 日も早く解消し、すべての国民が米をおなか一杯食べられるようになることを願っています。また改めて農家の方々の日々の努力に深く感謝申し上げます。

（記 副島 英樹）



議会広報編集特別委員会

委員長	佐藤 知美	委員	副島 英樹
副委員長	末次 勝	委員	徳川 博人
委員	田原 和幸	委員	大野 秋人

編集後記

議会の動き（令和 7 年 4 月～6 月）

- 4 月 2 日 全員協議会
- 4 日 議会広報編集特別委員会
- 7 日 議会広報編集特別委員会（神埼清明高校との意見交換会）
- 10 日 議会改革検討特別委員会第 1 分科会
- 11 日 第 243 回佐賀県市議会議長会（佐賀市）
- 15 日 議会広報編集特別委員会
- 17 日 全員協議会
- 23 日 議会広報編集特別委員会
- 議会改革検討特別委員会
- 24 日 九州市議会議長会第 100 回定期総会（大分市）
- 九州市議会議長会第 1 回理事会（大分市）
- 28 日 議会広報編集特別委員会
- 5 月 2 日 議会改革検討特別委員会第 1 分科会
- 12 日 産業建設常任委員会
- 13 日 議会改革検討特別委員会第 2 分科会
- 14 日 防衛省全国市情報施設協議会役員会（稚内市）
- 19 日 九州市議会議長会第 2 回理事会（東京都）
- 臨時佐賀県市議会議長会（東京都）
- 20 日 全国市議会議長会第 101 回定期総会（東京都）
- 27 日 文教厚生常任委員会
- 議会改革検討特別委員会第 1 分科会
- 28 日 総務常任委員会
- 29 日 産業建設常任委員会
- 6 月 3 日 議会運営委員会
- 6 日～ 27 日 令和 7 年 6 月第 2 回神埼市議会定例会
- 6 日 全員協議会
- 11 日 議会広報編集特別委員会
- 16 日 全員協議会
- 議会運営委員会
- 17 日 全員協議会
- 18 日 令和 7 年度予算特別委員会
- 23 日 総務常任委員会
- 議会改革検討特別委員会第 1 分科会
- 24 日 文教厚生常任委員会
- 25 日 議会改革検討特別委員会
- 議会運営委員会
- 27 日 全員協議会

西郷小学校・脊振小学校の6年生が 神崎市議会を傍聴しました

西郷小学校、脊振小学校の6年生が、社会科学習の一環で市議会一般質問を傍聴しました。生徒たちは少し緊張した面持ちで、議場での発言者の声に真剣に耳を傾けていました。

傍聴した
小学生の感想を
一部ご紹介
します

ぼくは、市議会傍聴席に行き、
分かった事気づいた事は、学校問題
について言及していた事。また介護の
事も言及していました。ぼくは、大人にお
て、市議会議員に立候補したいです。

今日、言義会ほう聴に行きまして、部屋に入りました。
ちゅうするは、言義員さんが集中してました。言義の内容は、
学校のことなどであつたのです。しかも、言義が長々
で、意見言ふ人があつた。たゞまた、次の意見がでて
きて、これを見習って、学校委員会などをしてほしいです。

今日行った市議会はとてすごいと、
感しました。いろいろなことをそして
たくさん学びました。話の内容は、学校の
給食や制服トイについてだったので
とても興味がありました。シーンとした
時間がなくみなさんが次々に意見を
言っていました。私たち市議会のような
学級会にはないと思いました。

「楽しい」が半分、「きつかった」が半分でした。



市議会では、女性より男性の方が多かった。下
登校や介護の話も聞いて、内容は葉生
しがつたと言っていることは、何となく分かった
気がした。不登校の王理由が
分かった。僕たちにはできることがあった
5何か見つけた。

進める人は「〇の〜について…」と言ふ
はじめていて今何を言っているのか
理解できなかった。学校のことを話して
いたときは、生徒のことや親の
教育のことを話していたのでこんな
ことがおきているんだ」と思いました。



私は、市議会傍聴をして不登校の生徒、土曜日の人、親しい人、介護の言葉を聞いて、市の仕事
が正に行われていることを確認するといふ事を言っていた
事が分かりました。不登校の生徒が「いる理由」
まで話していました。少し難儀しかし、たけとたい
たいの言葉は分かりました。

ほくたちには、むずかしい言葉などいっぱい
あ、けれど、市議会に参加していたみなさんは、
話術ボードがはやくても、りかいしてすすがった
です。おかい人がすくなかったからほくも
大人になったり、こいほしてみたいです。

学校や福祉の話し合いをしていることが分かった。若い議員が少なかつたから、立候補する人が少なくなっているのかなと思った。大人になったら、まちをもり上げられる人に投票したいと思った。